

令和3年度

事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

学校法人明德学園

目 次

I 法人の概要について

1. 建学の理念・教育目標について	2
2. 法人の沿革について	2
3. 設置する学校・学部・学科等について	3
4. 設置する学校・学部・学科等の学生生徒数の状況について	3
5. 教職員について	3
6. 理事・監事・評議員について	4
7. 学園の組織図	5

II 事業の概要について

1. 明德学園（学園本部）	6
2. 京都経済短期大学	15
3. 京都明德高等学校	24
4. 京都成章高等学校	31

III 財務の概要について

1. 主な計算書類	37
2. 当該年度の決算の概要について	42
3. 主な施設設備の整備状況について	42
4. 財産目録	43
5. 主な財務比率について	44

I 法人の概要について

1. 建学の理念・教育目標について

この法人は、日蓮聖人生誕700年記念事業として本圀寺（ほんこくじ）により設立されたもので、日蓮聖人の教えを遵奉し、教育基本法及び学校教育法に従い、宗教的情操の涵養に努め、明知を以て明德を实践する国民の資質を向上せしむる教育をおこなうことを建学の精神としている。

2. 法人の沿革について

明德学園は大正10年に設置された明德女学校から出発し、今年創立100周年を迎えることができた。現在、学園傘下には京都明德高等学校、昭和61年開校の京都成章高等学校、及び平成5年4月に高度情報化社会の要請に応じて開学した京都経済短期大学の三校を擁している。

私学を取巻く社会的環境は非常に厳しいものがあるが、今一度学園の建学の精神および教育理念の意義を確認し、「明德学園は働く人づくり日本一の教育機関」をめざすことが社会的使命（責任）であるとし、経営ビジョンの柱として「生き生き働く魅力ある教職員づくり」、教学ビジョンの柱として「将来の生き方につながる職業観の育成」を掲げ、この両輪とともにそのミッションの実現に向かって鋭意努力しているところである。

この間、学園三校の卒業生総数は5万人を超え、全国各地のあらゆる分野において活躍している。母体であった明德商業高等学校は平成9年4月に「京都明德高等学校」と校名を変更して普通科を併設し、平成12年4月に男女共学とした。

さらに、男子校として開校した京都成章高等学校も平成15年4月に男女共学とし、教育の多様化に取り組み、平成26年4月には全日制課程に加えて、現役での大学進学を目指す通信制課程を併設した。

そして、平成24年に創立20周年を迎えた京都経済短期大学は、開学以来高い就職率を維持するとともに、課外講座をはじめとする四年制大学への編入対策のサポートを強化し実績をあげるなど、地域に根ざしながらもグローバル社会の中で時代に即応した人材の育成に努めている。

学園傘下の大学・高等学校とも、それぞれの教育目標に沿って順調に教育活動を営んでいる。

年号・年・月	法人の沿革（概要）
明治44年8月	社団法人明德学園創立
大正10年4月	明德女学校創立
大正13年4月	明德高等女学校設立認可
昭和23年4月	明德女子高等学校設置
昭和26年3月	学校法人明德学園へ組織変更
昭和27年4月	明德女子商業高等学校と改称
昭和29年4月	明德商業高等学校と改称
昭和61年4月	京都成章高等学校設置
平成 4年4月	明德商業高等学校全面移転

平成 5 年 4 月	京都経済短期大学経営情報学科設置
平成 9 年 4 月	明德商業高等学校に普通科を併設し、京都明德高等学校と改称（収容定員 1,800 名→1,440 名）
平成 12 年 4 月	京都明德高等学校の男女共学化
平成 14 年 4 月	京都成章高等学校の学則変更（収容定員 810 名→1,200 名）
平成 15 年 4 月	京都成章高等学校の男女共学化
平成 26 年 4 月	京都成章高等学校に通信制課程普通科を併設
平成 30 年 4 月	京都経済短期大学の学則変更（収容定員 300 名→400 名）

3. 設置する学校・学部・学科等について

- (1) 京都経済短期大学 経営情報学科
- (2) 京都明德高等学校 全日制課程（普通科）（商業科）
- (3) 京都成章高等学校 全日制課程（普通科） 通信制課程（普通科）

4. 設置する学校・学部・学科等の学生生徒数の状況について

令和 3 年 5 月 1 日現在（人）

学校名	学科等	入学定員	収容定員	入学者数	在籍者数
京都経済短期大学	経営情報学科	200	400	219	487
京都明德高等学校	全日制 （商業科）	480 (240)	1,440 (720)	346 (138)	1,039 (359)
	（普通科）	(240)	(720)	(208)	(680)
京都成章高等学校	全日制	400	1,200	242	1,405
	通信制	—	300	1	20

5. 教職員について

令和 3 年 5 月 1 日現在（人）

学校名	教職員数	内 訳			
		教員		職員	
		本務	兼務	本務	兼務
学園本部 ※部門割人数（ ）を含まず	2 (11)	—	—	2 (11)	0
京都経済短期大学 ※部門割人数（ ）を含む	73 (3)	14	37	20 (3)	2
京都明德高等学校 ※部門割人数（ ）を含む	95 (4)	54	28	9 (4)	4
京都成章高等学校 ※部門割人数（ ）を含む	98 (4)	83	3	11 (4)	1
合 計	268	151	68	42	7

6. 理事・監事・評議員について

令和4年3月31日現在

◇理事（定数13名・現数13名）

理 事 長	川 口 博	
副 理 事 長	中 村 鈴 子	小 島 理 沙
常 務 理 事	浜 岸 和 洋	
名 誉 理 事 長	松 本 学 昭	
理 事	高 橋 弘	二 宮 庸 介
	吉 竹 浩 克	相 根 英 樹
	佐 藤 健 司	平 木 真 人
	中 井 正 雄	小 林 哲 也

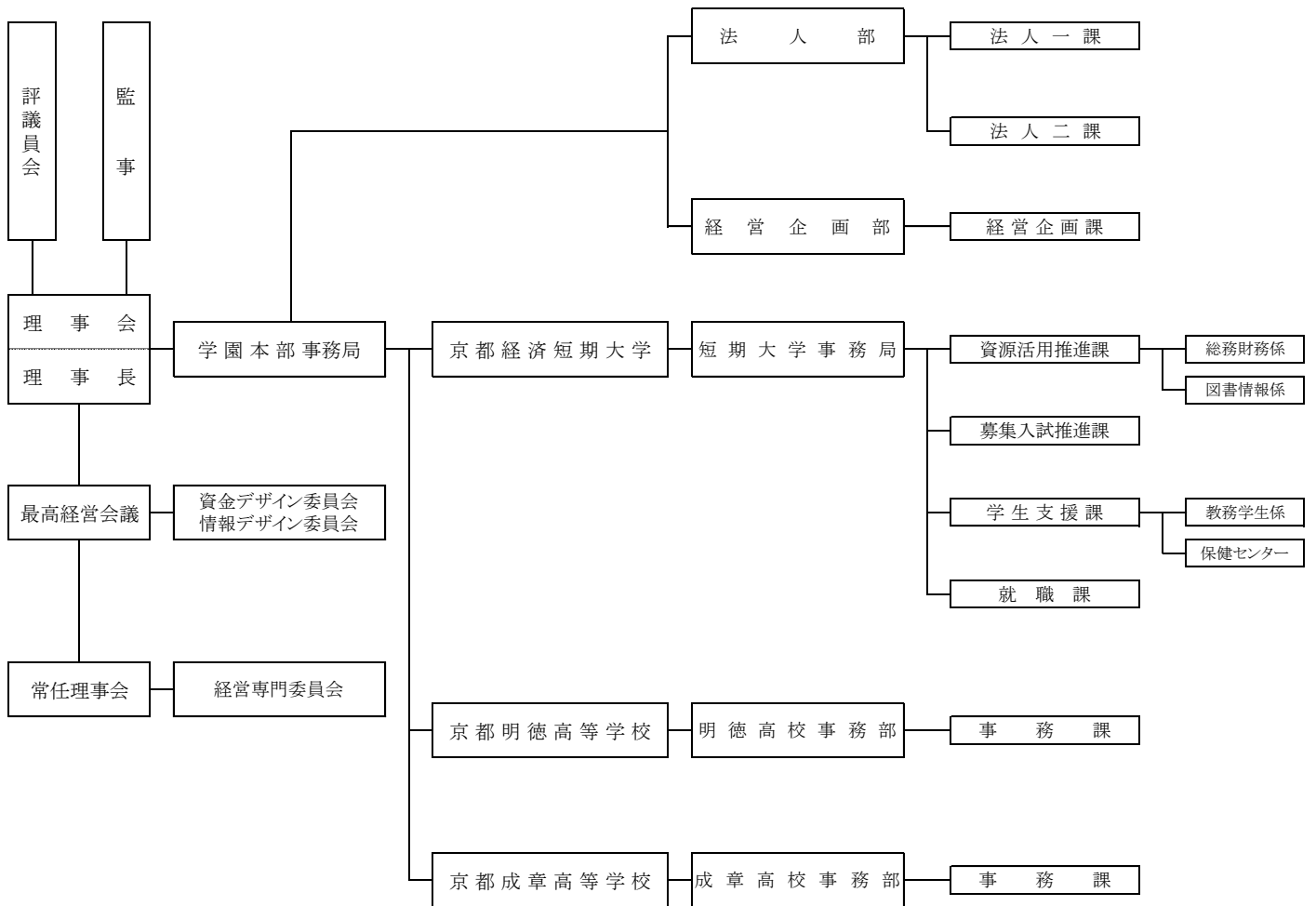
◇監 事（定数3名・現数3名）

常 勤 監 事	上 野 克 也	
監 事	川 勝 康 行	植 田 観 樹

◇評議員（定数29名・現数29名）

川 口 博	中 村 鈴 子	浜 岸 和 洋
松 本 学 昭	高 橋 弘	二 宮 庸 介
吉 竹 浩 克	相 根 英 樹	佐 藤 健 司
平 木 真 人	中 井 正 雄	清 崎 優 里
安 里 寛 子	岡 泰 秀	村 山 宥 斗
阿 部 晃 彰	竹 永 知 子	河 本 理 栄
渡 邊 正 弘	道 端 公 司	田 辺 哲 也
三 村 貴代美	川 口 智 康	大 西 秀 樹
今 枝 徳 蔵	上 田 尚 正	浅 野 耀 泰
近 藤 永太郎	風 間 隨 修	

7. 学園の組織図



II 事業の概要について

1. 明德学園（学園本部）

(1) 当該年度の事業の概要について

めざすもの： 「働く人づくり日本一の教育機関」
ミッション： 「傍（はた）を楽（らく）にする人づくり」
経営ビジョン： 「生き生き働く魅力ある教職員づくり」
教学ビジョン： 「将来の生き方につながる職業観の育成」

今年度、本学園では、これまで同様、長期計画としての「明德学園、これからの10年（17）」を策定し、学園のミッション・ビジョンを全教職員に明示し、教学面・経営面ともに改革を実践しながら経営を進めてきた。一昨年度末より続くコロナ禍で、様々な制限を強いられたものの、授業の形態や行事等の開催方法など、様々な工夫を重ね、出来る限り従来通りの形で、それぞれの事業を進めることとした。

①明德学園事業計画（概要）

◇明德学園の経営

- ・「人を使うから人を活かすへ」スクールガバナンスの構築
- ・「ひとイノベーション」デザイン思考経営
- ・経営責任と執行責任を明確にし、機能する理事会を構築
- ・教学と経営の融合を図る経営専門委員会の設置

《令和3年度 経営専門委員会》

100周年実行委員会Ⅲ 新しい学校づくり委員会

- ・学園本部による各種支援体制の整備

◇明德学園の「人づくり」

- ・利己主義から利他主義へ
- ・インテグリティ（統合性）とダイバーシティ（多様性）の実現のために
- ・競争から共創へ
- ・教職員の成長が学校法人や学校の価値向上に結びつくことをめざす
- ・教育を取り巻く環境変化への対応と職務貢献に応じた賃金制度

◇「教育づくり」の支援

- ・教育力向上の取り組みを推進
- ・四部門横断的「学園として」の教職員研修会の充実を図る
- ・「面白いを創る」、感動体験を生み出す文化・スポーツ活動の推進
- ・あらゆる場を通じて「宗教する心」の涵養に努める

◇情報をデザインする

- ・学園や学校の見えない資産をわかりやすく伝える工夫をする
- ・学生・生徒確保につながる企画広報活動の研究
- ・学校法人のディスクロージャー制度の更なる研究と実施
- ・アカウントビリティ（ステークホルダーへの説明責任）

《情報デザイン委員会の基本姿勢》

新聞広告・広報物の制作と共に100周年誌への参画

◇資金をデザインする

- ・お金の命を吹き込む
- ・効率的財政支出に向けての取り組み
- ・学園創立記念奨学金・学園教育振興金に冠奨学金を加え充実をはかる
- ・スクールファイナンスの構築

《資金デザイン委員会の基本姿勢》

デザイン思考・ファイナンス思考を活かした安定感ある資金運用

◇監査機能の充実とコンプライアンス

- ・教職員としての職務能力を高めるとともに、公金管理の徹底を図る
業務監査の令和3年度重点事項 監事監査計画による。
会計監査の令和3年度重点事項 監事監査計画による。
- ・コンプライアンス体制の確立のために
- ・仕事のあらゆる場面を通じて人権感覚を高めるための工夫を図る

◇ファシリティマネジメントの構築

- ・戦略的施設の取得と管理
- ・現有施設・設備の有効活用とその姿勢

《令和3年度 重点整備》

100周年の学校法人にふさわしい施設設備の整備をする。

◇明德学園のこれからをデザインする

- ・ミッション・ビジョン実現のため、「明德学園、これからの10年(17)」により、長期的な方向性(指針)を示す。
- ・大正時代の「明德」、昭和時代の「成章」、平成時代の「経短」の設置のように、これからの時代が求める「新しい学校づくり」を推し進める。

②主な事業内容

私学経営には戦略が不可欠である。学園本部には、事務局としての役割だけに留まらずに、経営戦略機能を有する「経営事務局」としての役割を強化していくことが求められている。その目的を達成するために、本部内に法人部と独立性の高い経営企画部を配置しており、本年度は以下のような事業を展開した。

◇理事会の開催

学校法人の価値向上のために、学校からの視点、学園からの視点に加えて、大局的・戦略的なものの見方・考え方をもって、以下の議案について審議し意思決定を行った。

〈主な議案〉

- ・明德学園グランドデザイン長期計画「明德学園、これからの10年(17)」
- ・令和3年度明德学園監事監査計画
- ・令和3年度明德学園人事委員会委員の選任
- ・令和3年度個人情報保護委員会委員の選任

- ・令和2年度事業報告
- ・令和2年度収支決算
- ・創立100周年記念事業関係
- ・令和3年度補正予算
- ・令和4年度予算編成方針
- ・令和4年度明德学園管理職人事
- ・令和4年度事業計画
- ・令和3年度最終補正予算
- ・令和4年度当初予算
- ・明德学園教育振興金及びみらい授業研究費の申請
- ・基本金の組み入れ
- ・学則変更
- ・諸規程・規則等の整備

◇評議員会の開催

学校法人の価値向上のために、学校からの視点、学園からの視点、第三者からの視点に加えて、大局的・戦略的なものの見方・考え方をもって、以下の議案について審議した。

〈主な議案〉

- ・令和2年度事業報告
- ・令和2年度収支決算
- ・令和3年度補正予算
- ・令和3年度最終補正予算
- ・令和4年度事業計画
- ・令和4年度当初予算

◇教学と経営の融合

業務執行機関のスタッフ組織として、理事・教員・職員により構成されている経営専門委員会について、令和3年度は「100周年実行委員会Ⅲ」と「新しい学校づくり委員会」、2つの委員会が設置された。両委員会の活動の内容は以下の通りである。

◎「100周年実行委員会Ⅲ」

100周年記念事業に関する検討、実施を担うため、委員会をさらに2つのチームに分け、役割を分担して行った。

Aチーム：「明德学園百年史」（A5判、794頁）を作成。「明德学園八十年史」を全面的に改編し、現存する史料により可能な限り時代背景も補足しながら修正し、時系列の中にもテーマで括りを入れた。新たにコラムを加えたり、本文中の写真や資料の内容を充実させるなど、読みやすいものにした。

Bチーム：「100周年ビジュアルブック」（A4判カラー、56頁）、式典ムービーを作成。「100周年ビジュアルブック」は「明德学園百年史」

のダイジェスト版として100年の歩みを全頁カラーで視覚的に表現した内容で作成。式典用動画「プロローグ」は式典開始時に上映、これまでの100年間の振り返りをスピード感ある内容として作成、また式典のエピローグとして上映された「みらいへ」は、文字通り学園の現在から未来へのイメージを伝える内容として作成した。

◎「新しい学校づくり委員会」

〈答申内容〉学園傘下の第4の新しい学校の新設等を提案

○併設型中高一貫校

- ・少子高齢社会、即戦力が求められる社会の要請に答える学校づくり
- ・先取り学習や在学中の大学単位習得などを用いた早期の人材育成
- ・課題解決能力やアントレプレナーシップの養成を目的とした有為な人材づくり
- ・インターンシップの拡充など社会との関りを深める

○インターナショナルスクール

- ・日本語も重視したカリキュラムで、多様な問題を解決できる人材育成
- ・時代の変化を柔軟に反映したカリキュラムで、様々な個性を持った人材を育成
- ・“日本の大学を選ぶ”から“世界から大学を選ぶ”へ進路選択の幅を伸長

○医療系専門職大学

- ・理解促進や実績の積み上げにより、更なる進学希望者が期待できる
- ・不確かな時代に確かな実力を備えることができる
- ・地域医療機関との連携により、洛西地域が抱える課題に向き合える
- ・スキルアップや学び直しニーズの受け皿として期待できる
- ・多様な学びにより、「新しいことを生み出していける人」を育てることができる
- ・スポーツ人口の増加に伴い、部活経験を生かせる「場」の広がりが期待できる

○その他

新しい学校づくりは新たな奨学金の創設と連動して進めることが望ましく、具体的には、目的に特化した奨学金（海外進学奨学金、留学支援奨学金、起業チャレンジ奨励金、指定試験合格奨励金など）の創設

◇創立100周年記念式典の実施

今年度は学園の創立から100周年にあたり、創立記念日である10月23日(土)に学園発祥の地（柿本町）にある京都東急ホテルにおいて記念式典を開催した。新型コロナの感染拡大防止に配慮し、午前の第1部では学外招待者を対象に、午後の第2部では学内教職員を対象に、分散かつ短時間での形式で実施した。

【第1部】 次第 （学外招待者対象）

プロローグ ※記念動画上映

開式の辞

国歌独唱 歌 京都明德高等学校 教諭 清水俊徳

ピアノ伴奏 京都成章高等学校 教諭 西田秀雄

式辞 理事長 川口博

祝辞 京都府知事 西脇隆俊 様
京都市長 門川大作 様
京都府私立中学高等学校連合会 会長 佐々井宏平 様
京都府私立中学高等学校経営者協会 会長 中井博之 様
京滋私立短期大学協会会長 秋山元秀 様

来賓紹介

祝電披露

「みらいへ」 ※記念動画上映

閉式の辞 常務理事 浜岸和洋

【第2部】 次第 (学内教職員対象)

プロローグ ※記念動画上映

開式の辞

国歌独唱 歌 京都明德高等学校 教諭 清水俊徳
ピアノ伴奏 京都成章高等学校 教諭 西田秀雄

式辞 理事長 川口博

祝電披露

永年勤続表彰・松本学昭教育奨励金表彰・特別表彰

「みらいへ」 ※記念動画上映

閉式の辞 常務理事 浜岸和洋

◇創立100周年記念事業の実施

- ・ロゴマーク…「100」と「数珠」をモチーフに作成
- ・寄付金募集…奨学金及び文化・スポーツ活動支援を充実
- ・教職員用ロゴ入りネームホルダー
- ・記念品 (ペーパーウエイト・千寿せんべい・クリアファイル等)
- ・校内掲示フラッグ…100周年ロゴと各校の校章をモチーフに作成
- ・記念ポスター
- ・横断幕 懸垂幕…「おかげさまで創立100周年 ひとイノベーションの明德学園」

◇研修会の実施

ア) 学園研修・懇親会

例年、創立記念日に明德学園のミッション・ビジョンを実現することを目的に、全部門横断的な「教職員研修会」として、「明德学園研修・懇親会」を実施しているが、今年度は創立100周年の記念式典を行ったため、実施しなかった。

イ) 職員研修会

本学園では、職員としての資質の向上を目指し、一流に触れることで教養を深めたり、職員相互の交流により信頼関係を構築するため、職員のみでの研修会も毎年実施してきたが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により活動を自粛することとした。

◇情報をデザインする

- ・学園広報誌「学園四季」の発刊

学園ミッション・ビジョンを体現している教育・研究実践など、学園の見えない資産を広報した。特に今年は100周年記念式典や記念事業はもちろん、在校生と卒業生によるコラボ企画「未来へつなぐ」なども掲載した。

- ・100周年記念新聞広告の掲出

日本経済新聞全国版に、「ひとイノベーションの明德学園」としてミッションを実現するために心に汗をかく覚悟を理事長自らが伝えるメッセージを、また、朝日新聞、京都新聞には、社会で役立つ学生・生徒を育てていきたいという思いを一筆箋にしたためた未来への手紙で表現した広告を、創立記念日である10月23日の朝刊に掲出した。

- ・学園 Web サイトの更新

昨年度、リニューアルした100周年記念サイトにて記念事業や寄付金の情報を随時更新した。

- ・学内広報誌「学内ニュース」の発行

学内教職員を対象に、告知、情報共有等を目的に発行した。

◇情報の公開

アカウントビリティー（ステークホルダーへの説明責任）を目的とし、信頼される重要な情報として財務情報・事業報告を積極的に公開した。今後も個人情報をはじめとした保護すべき情報には十分配慮しつつも、必要な情報公開に努める。

◇情報管理と活用

各学校で広報ツールとしても活用されている Web サイトについて、本部情報管理担当者が内容の充実と運用の利便性向上を支援した。また、京都経済短期大学のシステム運用委員会にも随時出席し、学園のシステム環境全般の整備に寄与した。

◇資金をデザインする

- ・スクールファイナンスの構築

明德学園の収入増加策として戦略的財務資金運用「お金に命を吹き込む」ことをめざし、インカムゲインはもとよりキャピタルゲインの増加策、そして各種引当金の充実をはかり、経営基盤の強化に努めた。

- ・効率的財政支出に向けての取り組み

学園単位での共同購入や施設設備の共同利用等で支出の効率化に努め、予算編成においてもプライマリーバランスを重視した。

- ・学園創立記念奨学金の充実

今年度も京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校の成績優秀かつ経済的に学費納付が困難な学生・生徒に対して、返済義務のない給付型奨学金7万円を126名に給付した。さらに経済条件を問わない給付型奨学金12万円も8名に給

付し、学園創立記念奨学金の充実に努めた。

- ・ 明德学園教育振興金の充実をはかる

学生・生徒に感動体験を生み出す文化・スポーツ活動を推し進めるなかで、今年度は、京都成章高等学校男子ラグビーフットボール部に支給し、支援を行った。

- ・ 松本学昭教育奨励金の支給

この奨励金は、松本学昭名誉理事長からの寄付を原資とする運用果実を利用し、明德学園の教育づくりに寄与する取り組みを行う個人またはグループを支援するために平成28年度に設けられた。今年度は、全部門から教員2名、職員2名に対し奨励金を支給し、その功績をたたえた。

- ・ みらい授業研究費制度の運用

明德学園のミッション・ビジョンの実現に向けて、本学園の教職員が、学生生徒の未来に役立つ授業を開発・実践することで、ひいては本学園の教育力の向上に寄与すると認められるものに対する助成を行っている。今年度は計7名の教職員に対して行った。

- ・ 島正博奨学金制度

令和元年度、本学園初代名誉理事長である島正博氏（株式会社島精機製作所会長）の過去の功労に感謝すべく新たな奨学金制度を創設した。今年度は基準を満たす学生・生徒計10名に対し、一人当たり年間20万円を支給した。

- ・ 川口博奨学金制度

川口博理事長からの100周年記念寄付金を原資として新たな奨学金制度を創設、今年度より基準を満たす学生生徒計8名に対し、一人当たり年間10万円を支給した。

- ・ 「お金に命を吹き込む」資金運用

資金運用の要件である安全性、安定性、効率性、計画性、説明責任等を重視しながら、「学校法人明德学園資金の運用に関する取扱規程」に基づいた資金運用を行った。また、ラダー型運用スタイル、対象商品により利回りを工夫する等、ポートフォリオをデザインしながら戦略的資金運用に努めた。さらに、運用管理機能としての「資金デザイン委員会」では、金融商品案件の検討会議を行うほか、研修会にも積極的に参加し能力の向上に努めた。

◇法務・コンプライアンス体制の確立に向けた取組み

予防法務機能としては、各部署からの法務に関する相談、諸契約に係る条項のチェック、規程等の改定提案、新規制定法令や改正法令の告知等を行った。

紛争処理・対処機能としては、法的問題が生じた際の解決支援や弁護士との連携及び官公庁への対応等を行った。

◇監査の実施

学校法人の価値向上を目的とし、学校としての視点から学園としての視点、各機関から独立した立場をもって、財務及び業務について適正かつ効率的な運営に資するために以下の事項について監査を行った。今後も引き続き本学園のミッション・ビジョンに沿った運営が円滑に遂行できるよう内部統制制度の構築・強化を図ると

ともに、教職員の公金管理に関する意識の向上及びステークホルダーに対する説明責任を果たしていく。また、学園全部門における業務内容を横断的に把握することで学園財産の保全及び業務の活性化へと繋げていく。

〈令和3年度実施監査〉

内部 監事 監査	第1回	令和2年度京都明德高等学校・京都成章高等学校クラブ活動に係る収支状況及び活動状況・管理体制について 日程：R3.07.07、07.09、07.12、07.13、07.14、07.15、07.16、07.26、07.29
	第2回	令和2年度京都経済短期大学科学研究費補助金の管理状況について 日程：R3.09.28、09.29、10.05
	第3回	京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校における学生生徒指導に係る管理運営状況について 日程：R3.11.15、11.18、11.24
	第4回	学園本部・京都経済短期大学・京都明德高等学校における諸規程の点検、順守具合及び各部門の取り組みについて 日程：R4.01.21、01.27、01.31
	第5回	令和2～令和3年度京都経済短期大学・京都明德高等学校・京都成章高等学校各周辺団体に係る収支・管理状況について 日程：R4.02.17、02.21、02.25、03.03、03.04
監査 法人 監査	令和2年度 期末監査	大手前監査法人による監査（※三様監査も実施） 日程：R3.04.05 R3.05.19、05.20、05.21
	令和3年度 期中監査	大手前監査法人による監査（※三様監査も実施） 日程：R4.02.28、03.01、03.02、03.03

◇ファシリティマネジメント

明德学園では、「総合的な施設設備活用を進め、その取り組みを通じて学生・生徒や教職員がともに『施設を美しく使う』、『モノを大切に使う』心を育み、また、良いモノを安く提供いただける企業との良好な関係を築くこと」をファシリティマネジメントの柱と位置づけ、推進している。

今年度は各校とも敷地内の受変電設備（キュービクル）の改修を実施し、安全性の向上を図った。また、100周年記念事業としての新たな不動産の取得等に関する情報収集等も行った。

(2) 中期的な計画の進捗・達成状況

単年度事業の遂行において、常に中期計画と対比させつつ進めている。

(3) 今後の課題について

長期に及ぶコロナ禍ではあるが、各校においてはそれぞれ、できる限りの対策を講じ、できる限り従来通りの教育研究活動を実施していくというスタンスで対応してきた。学園としても10月23日に創立100周年記念式典を実施、その大きな節目を祝うとともに、次の100年に向けてのスタートを切った。

未だ終息には至らないコロナ禍や15歳、18歳人口の減少に直面するなか、100年法人としてふさわしい、教育の展開と施設設備を充実させるべく教職員が心を一つにして事業を進めていかなければならない。

2. 京都経済短期大学

(1) 当該年度の事業の概要について

令和3年度は木曜日のみをオンライン受講日とし対面授業を重視した。このようなことから登校する学生たちの様子もいきいきしているように映った。また懸念された新型コロナウイルス感染者も年間20名程度であり、学生にマナーやエチケットを徹底して守らせることで対面での学びに大きな支障がないことがわかった。引き続きしっかりと予防していききたいところである。

(2) 入学志願者数、受験者数、合格者数等の入学試験に関する状況について

計7回の入試を実施した結果、以下のとおりであった。

志願者数：405名

受験者数：377名

合格者数：316名

入学者数：252名

(3) 卒業者数、学位授与数等の状況について

2021年度 218名

(4) 学生の就職・進学状況について

1) 就職

株式会社ビッグモーター①②③、株式会社福井トヨタ、株式会社 K Produce nice、ALSO K京滋株式会社、福井トヨペット株式会社、株式会社スマイルハートライフ、株式会社ネクステージ①②③、ホテルニューアワジグループ、株式会社テイル、株式会社ヴィエリス、株式会社サンドラッグ、株式会社アルプスビジネスサービス、トライアルグループ、ゲンキー株式会社、株式会社ピュアラル、株式会社藤三、株式会社 CELESTIAL BLISS、社会福祉法人清和園、豊トラスティ証券株式会社、滋賀運送グループ、三恵工業株式会社、株式会社クスリのアオキ①②、株式会社ワット・コンサルティング、株式会社 L i n g、株式会社古まん、シミズ薬品株式会社、株式会社ドリームホーム①②、株式会社マツモト①、暇生会脳神経外科病院、株式会社トヨタカローラ福井、株式会社ピアズ、福井信用金庫、京都府漁業協同組合、伊丹産業株式会社、滋賀中央信用金庫、楽天ソシオビジネス株式会社、株式会社アミング、YACYBER株式会社、株式会社ユキオー、鳥取トヨペット株式会社、株式会社みしまや、株式会社マルニコーポレーション、鹿島建物総合管理株式会社、株式会社スズキ自販鳥取、株式会社ダテ・メディカルサービス、株式会社GSユアサ、株式会社レクスト関西、京都丹の国農業協同組合①②、株式会社別大興産、マックスバリュ東海株式会社、甲賀農業協同組合、ワタキューセイモア株式会社、嵯峨嵐山たかふじ歯科医院、高槻市農業協同組合、株式会社ケアサービス、京都生活協同組合、青山商事グループ g l o b、株式会社メガネトップ、丸玉木材株式会社、キシステム株式会社、森本配管株式会社、岩井コスモ証券株式会社、株式会社三宅時計舗、株式会社ウィルオブワーク、株式会社山岸、ゲンキー株式会社、

株式会社さとう、有限会社タイムリー、マイタウン今治新聞社、ヤンマーアグリジャパン株式会社、社会福祉法人同和園、トヨタモビリティサービス株式会社、株式会社エム・ジェイホーム、株式会社ゆうホールディングス、株式会社ツナググループ・ホールディングス、株式会社福邦銀行、株式会社ファルコビジネスサポート①、株式会社フォーシーズ、株式会社ミュゼプラチナム、株式会社スタッフサービス・ミラエール、植松商事株式会社、TBCグループ株式会社、株式会社ソフィア、株式会社ビッグモーター④、カネマサ流通グループ、株式会社ラネット、武田病院グループ、角井食品株式会社、株式会社三笑堂、株式会社中島商会、株式会社マツモト②、株式会社プレサンスコーポレーション、京都農業協同組合、ニシムラ株式会社、株式会社タアフ、株式会社ナレッジソフトウェア、アライ興産株式会社、株式会社マナビインテリアハーツ、ニプロ株式会社、株式会社ホンダネット京奈、一般社団法人水口病院、税理士法人生駒会計、ベリーベスト法律事務所、トヨタモビリティパーツ株式会社、株式会社ファーストスクエア、和晃技研株式会社、株式会社ジャパンオートパーツ 24、株式会社ファルコビジネスサポート②、丸大ミート株式会社、TMES 株式会社、北おおさか信用金庫、株式会社橋電、株式会社エイブル、ナカザワホールディングス、株式会社炭平旅館、榎本正孝税理士事務所、株式会社ドン・キホーテ、株式会社大安、日本マニファクチャリングサービス株式会社、京セラ株式会社、洛和会ヘルスケアシステム、みつる税理士事務所、医療法人梅華会グループ、たなか内科、株式会社さとう②、株式会社ケーニヒスクローネ、ファースト住建株式会社、夢真、東洋テック、一般社団法人水口病院②、株式会社引越社、中央倉庫ワークス株式会社、株式会社伝食、株式会社満月①、株式会社土井志ば漬本舗、株式会社マーキュリー、株式会社 PEO、大塚歯科クリニック、株式会社モリヤマスポーツ、株式会社アウトソーシングテクノロジー、株式会社コスモネット、MK 石油株式会社、株式会社 CAN、双和電機株式会社、レーク滋賀農業共同組合、株式会社 interior style core、株式会社バンザイ、たかやま歯科医院、ソフトバンク株式会社、株式会社インフィニティ、ニッポンレンタカー関西株式会社、滋賀びわ湖青果株式会社、株式会社日の丸重機、合同会社家族舎株式会社中央倉庫、一般社団法人海外技術交流社団、鳴村歯科医院、株式会社コトネットエンジニアリング、たかやま歯科医院、株式会社吹上技研コンサルタント、株式会社京王プレミアホテル京都烏丸五条、株式会社満月②、ニシムラ株式会社、医療法人尚志会林歯科医院

2) 編入学

三重大学①②、関西大学、近畿大学、大阪産業大学①②③④⑤⑥⑦、東京経済大学、桃山学院大学①②③、追手門学院大学①②③④、大阪経済大学①②③、国士舘大学、京都文教大学、大阪経済法科大学、京都産業大学①②③④、関西外国語大学①②、京都外国語大学①②、大阪学院大学①②③④、龍谷大学①②、神戸学院大学、京都光華女子大学、京都精華大学、佛教大学

3) その他進学

日産京都自動車大学校、ロゼ&ビューティ美容専門学校、中央工学 OSAKA、専門学校 HAL 大阪、アミューズ美容専門学校、バンタンクリエイターアカデミー

(5) 今後の課題について

- 1) 令和5年度には、認証評価を受ける予定であるため、令和4年度からその準備にかかる必要がある。
- 2) 令和4年度入試では、募集定員以上の学生を確保できたが、教職員は常に危機感を持っておく必要がある。そのため、次年度はFD等において、今後の学生募集の方策を検討する。

(6) その他

1) 教育活動

- ・通常授業
一部オンラインを活用しながら前期、後期ともに、法令で定められた授業数を実施した。
- ・特別授業
長期休暇等を利用し簿記等資格取得対策講座や進路対策講座等を実施した。
- ・定期試験
前期、後期ともに、滞りなく実施した。
- ・プロジェクト演習
今年度は地域の方がお持ちの不要品と、必要品をマッチングさせる事業を展開した。これにより学生のリユース意識等を高める一助になった。
- ・ゼミナール活動
研究・発表・討論等を行なうゼミナールを、コロナ禍ではありながらも、校外活動、地域連携等、様々な形式で実施した。また12月には、ZOOMを活用しながら全学生参加によるゼミナール研究発表会を以下の通り実施した。

ゼミ名	テーマ
佐藤ゼミ	テレワークを取り入れた働き方の現状と課題
高阪ゼミ	スポーツとスマホゲームのデータ分析ーサッカーにおけるボール支配率と勝敗の関係とウマ娘におけるガチャ排出率の検証ー
濱口ゼミ	コロナショックが日本経済に与えた影響とその対策
菅野ゼミ	セクシャルマイノリティへの企業の取り組みと就職活動
小路ゼミ	カーリングのシミュレーション
刃刀ゼミ	ゼミナール研究発表会
田村ゼミ	学内アンケート調査からみる 他人との比較と自己肯定感
加藤悟ゼミ	動物の子育てを通して見る人間の感性
森崎ゼミ	デザインと感性の研究～3Dプリンターによる「ノータッチステイック」の開発とメガネのデザインの印象評価～
加藤康ゼミ	青果ロジスティクス
伏見ゼミ	環境報告の現状と課題
小島ゼミ	インフルエンサーの実態
高橋ゼミ	クラウドファンディングを利用した地域活性化

プロジェクト ト演習※	プロジェクト演習の取り組み実績 2021
----------------	----------------------

※発表順

・京都明徳高等学校との連携事業

前期は本学専任教員がオムニバス形式の講義を行い、本学での学びの全体像を高校生に理解させながら、生徒たちが自ら興味・関心領域の発見を見出すことに主眼を置いた。後期は、京都明徳高等学校での商業科の学びを更に深化させるべく、コンピュータ会計や確定申告の仕方に関する実務教育を実施した。また、短大の正規科目である秘書実務検定対策講義や販売士検定対策講義も開放し多数の高校生が受講し資格も取得した。

2) 行事等

4月 1日 (木)	入学式
4月 2日 (金)	避難訓練、新入生オリエンテーション (～4日)
4月 5日 (月)	前期授業開始
4月 7日 (水)	特待奨学生集会
4月 17日 (土)	健康診断
4月 24日 (土)	WEBオープンキャンパス、WEB教育後援会役員会
5月 26日 (水)	大学生協総会
5月 29日 (土)	WEB教育後援会総会
6月 11日 (金)	研究室訪問開始
6月 20日 (日)	オープンキャンパス
7月 1日 (木)	前期定期試験日程発表日、1回生定期試験ガイダンス
7月 3日 (土)	編入模試・学内小論文試験、同窓会役員会
7月 12日 (月)	補講開始 (～17日)
7月 18日 (日)	オープンキャンパス
7月 21日 (水)	基礎ゼミ合同授業
7月 26日 (月)	前期定期試験 (～7/29日)
8月 6日 (金)	WEB学校説明会
8月 11日 (水)	前期成績発表
8月 17日 (火)	再試験申込受付
8月 21日 (土)	オープンキャンパス
9月 1日 (水) 2日 (木)	追試験、再試験
9月 12日 (日)	ミニオープンキャンパス&入試説明会
9月 19日 (日)	WEB入試説明会
9月 21日 (火) 22日 (水)	後期オリエンテーション
9月 22日 (水)	前期卒業式

9月24日(金)	後期授業開始
10月20日(水)	島正博奨学金・明德学園創立記念奨学金・川口博奨学金・京都経済短期大学教育後援会創立記念奨学金交付
10月23日(土)	明德学園創立記念日、明德学園創立100周年記念式典
10月31日(日)	秋華祭〔学園祭〕
12月16日(木)	ゼミナール研究発表会
1月19日(水)	FD(シラバス)
1月23日(日)	WEB大学編入説明会
1月17日(月)	補講(～1/21)
1月27日(木)	後期定期試験(～2/1)
2月24日(木)	追試験、再試験(～25日)
3月4日(金)	卒業判定教授会
3月15日(火)	卒業証書・学位記授与式
3月27日(日)	オープンキャンパス2022

3) 学生指導・支援活動

- ・コース・ユニット制の円滑な運用を進めた。
- ・学生の実態把握に努め、問題点の見直し・改善を図った。
- ・進路指導について、教員・職員で、対面指導により生活指導面も含めてきめ細かに対応した。編入学対策としては、編入対策科目等において指導を行った。加えて、編入予備校との連携により対策講座も実施した。
- ・学生相談室でのカウンセラー面談の一層の充実を図った。
- ・退学者等を防ぐために、単位取得僅少者等に対する早期アプローチを実施した。

4) 研究活動

- ・教員の授業力向上に寄与させるべく前期・後期の各期に講義アンケートを実施した。
- ・研究紀要『京都経済短期大学論集』を発行することで研究発表の場を確保した。
- ・経営・情報学会を通じて研究会を開催し、専任教員および特任講師による研究報告を実施した。

[学術論文]

	論文等の名称
加藤 康	口頭発表「サプライチェーンとSGDs」【京都経済短期大学経営情報学会】
高阪勇毅	①英文査読論文「The Willingness to Pay for a Hypothetical Vaccine for the Coronavirus Disease 2019(COVID-19)」【International Journal of Environmental Research and Public Health, Vol.18, No23, p.12450, MDPI】 ②口頭発表「嘉納治五郎のSDGs—講道館柔道による武術の継承—」【京都経済短期大学経営情報学会】

小島理沙	<p>①紀要論文「つくる責任・つかう責任」を容器包装から減装（へらそう）ショッピング【包装技術 18（298）】</p> <p>②専門誌記事「持続可能な社会と容器包装 減装ショッピングの SDGs としての意義について」【一般社団法人日本食品包装協会会報】</p> <p>③専門誌記事「廃 PET ボトルの資源価値①」【月刊廃棄物 10 月号】</p> <p>④専門誌記事「廃 PET ボトルの資源価値②」【月刊廃棄物 11 月号】</p>
近藤汐美	<p>口頭発表「創業体験プログラムによる会計教育」【京都経済短期大学経営情報学会】</p>
佐藤健司	<p>①紀要論文「高業績業務システムを基盤においた人的資源管理の 2 面性」【京都経済短期大学論集 第 29 巻第 1 号】</p> <p>②紀要研究ノート「日本企業における従業員の仕事への熱意度・満足度の低さとその要因」【京都経済短期大学論集 第 29 巻第 1 号】</p> <p>③口頭発表「メンバーシップ型雇用とジョブ型雇用の今後」【京都経済短期大学経営情報学会】</p>
小路真木子	<p>①和文査読論文「拡大する漫画・アニメ産業市場と世界に浸透する文化的価値」【比較文化研究 No.145,pp.25-37】</p> <p>②紀要論文「印象語収集 Web アンケートと印象語データベース管理サイトの構築」【京都経済短期大学論集 第 29 巻第 1 号】</p> <p>③口頭発表「教科「情報」の動向について」【京都経済短期大学経営情報学会】</p>
高橋和志	<p>①紀要論文「情報デザインを学ぶ学生の作品展活動と地域への関わり」【京都経済短期大学論集 第 29 巻第 1 号】</p> <p>②口頭発表「大学と社会関係資本」【京都経済短期大学経営情報学会】</p>
高橋 弘	<p>口頭発表「能率的、実践的英語学習の一考察：日本語理解脳から英語理解脳への転換を意識した学習法」【京都経済短期大学経営情報学会】</p>
濱口喜広	<p>①英文査読論文「Polluting firms' location choices and pollution havens in an R&D-based growth model for an international emissions trading market」【The Journal of International Trade and Economic Development Vol. 30 Issue. 4,pp.625-642 Routledge Taylor & Francis】</p> <p>②英文査読論文 Does the trade of aviation emission permits lead to tourism-led growth and sustainable tourism? 【Transport Policy Vol.105,pp.181-192 Elsevier Inc】</p> <p>③英文査読論文 Welfare effect of rent-seeking activities under international management of fishery resources 【Fisheries Research Vol.246, February 2022,106170 Elsevier Inc】</p> <p>④口頭発表「Welfare effect of rent-seeking activities under international management of fishery resources」【京都経済短期大学経営情報学会】</p>
伏見康子	<p>口頭発表「会計教育におけるアクティブ・ラーニング（現場から学ぶ）」【京都経済短期大学経営情報学会】</p>

森崎巧一	<p>①和文査読論文「拡大する漫画・アニメ産業市場と世界に浸透する文化的価値－日本の漫画・アニメに対する意識調査と印象語調査を通して－」【比較文化研究 Studies in comparative culture (145), pp. 25-37】</p> <p>②紀要論文「情報デザインを学ぶ学生の作品展活動と地域への関わり」【京都経済短期大学論集 第29巻第1号】</p> <p>③紀要論文「印象語収集 Web アンケートと印象語データベース管理サイトの構築－日本の漫画やアニメなどのポップカルチャーを対象として－」【京都経済短期大学論集 第29巻第1号】</p> <p>④口頭発表「漫画やアニメに対する日本人の意識と感性」【京都経済短期大学経営情報学会】</p> <p>⑤口頭発表「円検出ツールを活用した印象評価分析法の可能性」【比較文化論 No.39 日本比較文化学会第43回全国大会 2021年度国際学術大会発表抄録 於東京未来大学. 2021. p.51】</p>
------	--

[外部研究資金獲得] (競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	研究項目 (文科省科研費等)
加藤 康	タイミングコントローラーの競争優位：規模の経済と JIT 生産の両立に関する研究 (中道一心)	文科省科研費基礎研究 (C)
高阪勇毅	<p>①売買単位集約を目的とした株式併合の増加と株価・流動性への影響 (単独研究)</p> <p>②巨大リスクにどのように立ち向かうか？イスラエルとの共同研究</p>	<p>①文科省科研費若手研究</p> <p>②国際共同研究加速基金(国際共同研究強化 (B))</p>
小島理沙	ライフスタイルの多様化が進行する超高齢社会における資源回収システムデザインの研究 (小島理沙)	大学発アーバンイノベーション神戸 (神戸市)
小路真木子	印象評価と画像解析を用いた異文化感性理解支援ツールの開発 (森崎巧一)	文科省科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) (基盤研究 (C))
濱口喜広	<p>①持続可能な観光と環境政策－排出権市場と航空部門を含む観光経済モデルの動学的分析－ (単独研究)</p> <p>②国境税調整と二重規制が産業構造を通じ温室効果ガスと経済成長に与える影響の動学分析</p>	<p>①日本学術振興会 2019年度若手研究</p> <p>②日本学術振興会 2022年度若手研究</p>
森崎巧一	印象評価と画像解析を用いた異文化感性理解支援ツールの開発 (森崎巧一)	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) (基盤研究 (C))

[公的委員会]

小島理沙	①大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 委員長 ②神戸市ペットボトルリサイクル (PET to PET) 事業者評価委員会 委員長 ③環境省 3R 推進マイスター ④豊中市第 13 期豊中市廃棄物減量等推進審議会委員 ⑤日本包装学会 編集委員
高橋和志	洛西ケーブルテレビジョン番組審議会委員

[学術団体の理事]

	団体名等
佐藤健司	労務理論学会理事 (第 11 期理事)

[講演会]

	活動・講演の概要
高阪勇毅	①行動経済学ゆるゆる配信 「行動経済学もオリンピックだよ！武道編」(2021年7月23日(金)) 黒川博文(兵庫県立大学)と登壇 ②行動経済学ゆるゆる配信「困ったときはこの卒論！」(2021年11月5日(金)) 林良平(高知工科大学)と登壇
小島理沙	①つくる責任・つかい責任の実践事例 容器包装を減らす減装ショッピング 第173回食品流通包装懇話会(2022年1月27日 講演) ②SDGs×食品ロス 食品ロスダイアリーアプリを活用した調査研究 兵庫県・APN連携フォーラム(2021年12月23日 講演) ③プラスチック資源循環を考える～社会構造とリサイクル～ライデン(オランダ)大学(2021年10月18日 オンライン講義)
森崎巧一	①【イラスト作品展『七福猫展』】を開催 期間：2021年11月9日～11月22日、開催場所：café LINDEN ②【洛西のデザインコンペ『わたしのノマド展』】制作指導及び作品展参加 けやき百選クラブの藤原篤先生と高橋和志先生が制作指導に協力 制作指導実施日：2021年10月27日、開催場所：本学小教室1(ゼミ時間に開催) 作品展示日：2021年11月6日、開催場所：洛西けやき通りストリート ③【動画『モリチャンネル』】を上映 実施日：2022年1月25日、上映場所：学生ホールTV、YouTube(1月24日～2月1日限定公開) 上記の『わたしのノマド展』の取材内容を動画に盛り込んで上映。動画は森崎ゼミの学生らと共に制作。 ④【イラスト作品展『赤と黒と白』】開催 指導期間：2月上旬 期間(学外(café LINDEN))：3月上旬～中旬 期間(学内)：3月中旬～4月上旬

濱口喜広	Feature Story News 配信ラジオニュース取材「温室効果ガス排出量削減」について、2021年4月21日から2021年4月28日、米国通信社 Feature Story News プロデューサーの依頼により、菅首相が表明した温室効果ガス削減目標の大幅引上げとアメリカ主導で開催された気候変動サミットに関連して、日本の温室効果ガス削減に関する国内状況を専門家の立場からコメント。
------	--

[みらい授業研究費の活用]

	研究課題名
功刀祐之	洛西地域の観光地調査と景観撮影を通じた地域学習プログラムの開発と実践
森崎巧一	エンターテインメント性を取り入れた大学ブロードキャスティングに関する研究
小島理沙	経済教育を通じたはたらく人づくりの実践的研究
加藤 悟	タブレット (iPad) 教育アプリの試作
近藤汐美	クラウド会計を用いた会計教育の研究
伏見康子	会計教育におけるアクティブラーニングの実践—企業訪問による実態調査—

5) 管理・運営等

学長のリーダーシップのもと13回の定例教授会を開催した。さらにその調整機能を果たす執行部会も、各委員会や事務組織との連携を図りながら開催した。これにより、教育・研究活動が円滑に進んだ。

[各委員会組織名]

教授会、執行部会、人事委員会、教学委員会、募集入試委員会、就職委員会、図書学会委員会、第三者評価委員会、システム運用委員会、留学生委員会（教学委員会に包括）、ハラスメント防止委員会、洛西・地域研究センター、衛生委員会

6) 施設設備等の整備

新型コロナウイルス感染症予防に係る備品や消耗品を適宜準備した。また、電子黒板やコンピュータの導入を図り、全教室をホワイトボード化した。

3. 京都明德高等学校

(1) 当該年度の事業概要について／今後の課題

昨年来から続く、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた中で、教育活動を展開することはいうまでもないが、その変化に教員、生徒が新しい学校の生活様式にうまく順応することができた。修学旅行をはじめとした、さまざまな学校行事を中止で対応せざるを得ない状況から、分散、取り組み内容、時期など、多方面から検討を重ねることで、通常行われるすべての行事を実施することができた。学園祭では、制作発表はもちろん、その取り組み過程から、生徒それぞれが主体的な考えや行動を示した。集団における活動は、個人ではなく、他人のため「利他の心」が何より大切である。改めて、学校行事における人づくりの役割を再認識することになった。同時に、ICT活用を中心としたオンライン学習は、家庭学習はもちろん、通常授業でも取り入れられるようになり、生徒への新たな学習機会の提供のみならず、教員の教材研究に刺激を与えるものとなっている。

大学進学については、全国商業高等学校協会推薦入試において、全国で3枠の狭き門である同志社大学の合格を勝ち取り、また、商業における専門学科推薦で、産近龍といった大学を複数人が合格するなど、商業科において過去にない実績を上げることができた。1921年の明德女学校創立から100年。明德学園創立100周年を迎える重要な節目となる年に、長きに渡る商業教育の新たな可能性を示すことができた。これは、大変喜ばしいことと同時に、本校の特色として、次の100年に向けた発展を予感するところとなった。令和の時代、答えのない問いに対して、決断し行動を起こしていかなければならない。論理性だけでなく、直観・感性も求められる。それは、働く教職員だけでなく、これから社会を担う生徒たちに必要な資質・能力となる。本校の3年間の学びは、こうした資質・能力を育む場としてあり続け、人口減少社会における、学校の発展、持続性を保つこととなる。京都市内唯一の商業科と普通科併設の学校として、特色を全面に押し出した教育活動を進めていく。

【整備】

- ・校舎内共有部LED化
- ・パソコン教室1、パソコン教室3 リニューアル
- ・スクールバス増便
- ・教員用ノートPC 12台
- ・教室内天吊プロジェクタ 5台

【キャリア教育】

- ◆1・2年：次世代型キャリア教育（総合的な探求）
- ◆企業人による講演
 - 1年：1回（ZoomによるオンラインLive）
 - 2年：2回（対面講義）

◆進路ガイダンス

- 1年：職業理解ガイダンス（1回）、進路部長ガイダンス（2回）
- 2年：学問分野別説明会（3回）※看護説明会含む
- 3年：進路部長ガイダンス（4回）、大学入試説明会（1回）

◆教育連携プログラム

- 2・3年：京都経済短期大学「商業科&高短連携授業」

◆京都明德キャリアウィーク

※新型コロナウイルス感染症により、内容変更。

- 1日半、大学オンライン模擬講義を実施。

◆就職プログラム

- 進路相談、会社見学、マナー講座、履歴書指導、面接・内定者指導、入社前セミナー

【行事】

4 /	5 (月)	新入生登校日
	8 (木)	入学式
	9 (金)	始業式
	1 2 (月)	新入生歓迎会
	1 3 (火)	通常授業開始
	1 4 (水)	3年生HR懇談会
	1 9 (月)	2年生HR懇談会
5 /	1 0 (月)	3年進学ガイダンス
	1 1 (火)	3年就職ガイダンス
	1 2 (水)	避難訓練
	2 0 (木)	健康診断
6 /	5 (土)	全国高等学校ビジネス計算競技大会
	1 2 (土)	私学フェア
	1 3 (日)	私学フェア
	1 4 (月)	教育実習反省会
	1 5 (火)	修学旅行結団式
	1 6 (水)	生徒大会
	1 9 (土)	ミニオープンスクール
	2 0 (日)	珠算・電卓検定
	2 2 (火)	3年保護者対象進路説明会
	2 3 (水)	生徒会役員改選
	2 4 (木)	育友会・クラブ後援会総会
	2 5 (金)	夜の学校見学会
	2 7 (日)	簿記検定
	2 8 (月)	定期考査
7 /	5 (日)	ビジネス文書実務検定
	7 (火)	塾対象オンライン学校説明会

- 1 1 (土) 第1回総合学力テスト
 1 6 (木) 一学期定期考査
 2 2 (水) 3年模擬面接指導・就職者指導
 2 7 (月)～3 0 (木) 通常授業
 3 1 (金) 終業式
 8 / 1 8 (水) 夏のクラブ体験会
 1 9 (木) 就職相談・受験企業校内選考
 2 0 (金) 合同面接指導(就職企業決定生徒対象)
 2 1 (土) 夏のオープンスクール
 2 4 (火) 始業式
 2 5 (水) 受験企業決定者 履歴書・調査書
 指定校推薦校内選考出願開始
 9 / 4 (土) 5 (日) 私立中高展(みやこめっせ)
 1 0 (金) 夜の学校見学会②
 1 2 (日) 全商 英語検定
 1 6 (木) 健康診断 → 延期
 1 8 (土) ミニオープンスクール
 2 6 (土) 全商 情報処理検定
 1 0 / 6 (水) 1年体育祭
 7 (木) 2年体育祭
 8 (金) 3年体育祭
 1 6 (土) オープンスクール
 2 1 (木) 2 2 (金) 全国私学教育研究集会京都大会
 2 3 (土) 【創立記念日】明德学園創立100周年記念式典
 2 4 (日) 全商 会計実務検定
 2 8 (木) 2 9 (金) 京都明德キャリアウイーク
 1 1 / 2 (火) 夜の見学相談会
 5 (金) 学園祭
 8 (月) 芸術鑑賞会(宝塚歌劇)
 1 4 (日) 全商珠算電卓検定
 1 5 (月) 遠足
 1 7 (水) お会式
 1 8 (木) 健康診断
 1 9 (金) 夜の見学相談会
 2 8 (日) 私立中高入試相談会
 1 2 / 2 (木) 期末考査 最終日
 4 (土) 個別入試相談会
 6 (月) 通常授業開始
 7 (火) 次年度 進学「文理クラス」説明会
 1 1 (土) ミニオープンスクール

- 1 3 (月) 人権学習
 1 4 (火) 人権学習
 1 5 (水) テスト返却
 1 6 (木) HRセミナー
 1 7 (金) 終業式
 1 8 (土) 個別入試相談会
 1 9 (日) 全商英語検定
 1 / ~ 7 (金) 冬期講習会
 1 1 (火) 始業式・涅槃会・降誕会
 1 3 (木) 修学旅行 結団式
 1 5 (土)・1 6 (日) 大学入学共通テスト
 1 8 (火) ~ 2 5 (火) 入試願書受付期間
 2 3 (日) 全商簿記実務検定
 2 5 (火) ~ 2 7 (木) 3年学年末考査
 2 4 (月) ~ 2 8 (金) 修学旅行 ※A団：24~27 B団：25~28
 3 0 (日) 全商 情報処理検定
 2 / 4 (金) 会社決算書アナリスト試験
 6 (日) 全商 商業経済検定
 1 0 (木)・1 1 (金) 令和4年度入学試験
 1 9 (土) 推薦専願制服採寸日、1.5次入試
 2 7 (日) 日商 簿記検定
 3 / 2 (水) 卒業証書授与式
 8 (火) ~ 1 1 (金) 1・2年学年末考査
 1 8 (金) 終了式
 2 2 (火) 合格者登校日

【部活動】

◆ダンス部

- ・USA School&College Nationals2021 全国決勝大会 (ビデオ審査)
 高校編成 HipHop 部門 Small 1位
- ・日本高校ダンス部選手権 近畿・中国大会Cブロック スモールクラス入賞
- ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会
 HIPHOP 部門男女混成 Medium 編成 第3位
- ・ダンスドリル秋季競技大会 関西大会
 HIPHOP 男女混成部門 Large 編成 優勝
 団体 総合優勝 ※Dance Drill Winter Cup 2022 出場権獲得
- ・第12回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 Winter Cup2022
 Hiphop 部門男女 Large 編成 優勝

- ・Dance Drill Spring Festival2022
西日本高等学校ダンスドリル競技大会
HIPHOP 男女混成部門 Large 編成 優勝
団体総合 第2位

◆ソフトボール部

- ・全国高等学校総合体育大会 京都府予選 第3位 (近畿大会出場)

◆女子硬式野球部

- ・第25回 全国高等学校女子硬式野球選手権大会 出場

◆女子バスケットボール部

- ・全国高等学校総合体育大会 京都府予選 第4位 (近畿大会出場)
- ・第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選 ベスト16
- ・第69回京都府高等学校新人バスケットボール大会 ベスト4

◆男子バスケットボール部

- ・全国高等学校総合体育大会 京都府予選 ベスト16
- ・第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選 ベスト16
- ・第69回京都府高等学校新人バスケットボール大会 ベスト16

◆剣道部

- ・全国高等学校総合体育大会 京都府予選 第3位 (近畿大会出場)
- ・京都府高等学校新人大会 女子団体 準優勝
- ・全国選抜予選 女子団体 第3位 近畿大会出場決定

◆珠算部

- ・第68回全国高等学校ビジネス珠算・電卓競技大会 京都府予選会
団体電卓部門 優勝 (全国大会出場)
個人電卓部門 2年 国富鈴華 優勝 2年 山中来春 2等
個人珠算部門 1年 松岡拓哉 2等 (全国大会出場)
2年 清水 薫 3等 (全国大会出場)

◆パソコン部

- ・第33回全国高等学校情報処理競技大会 京都府予選会
個人 3年 森耕太郎 優勝 (全国大会出場)
3年 片桐沙南 (全国大会出場)
- ・第68回全国高等学校ワープロ競技大会 京都府予選会 第4位 (近畿大会出場)

◆吹奏楽部

- ・第34回京都府マーチングコンテスト 金賞
- ・第58回京都府吹奏楽コンクール 銀賞
- ・第29回マーチングバンド京都府大会 金賞
- ・第43回マーチングバンド関西大会 銀賞

◆個人

- スカイランニング 近江仁之介 (2年)
- ・2021スカイライニングユース選手権
日本代表選手 世界選手権出場 (イタリア アペニン山脈)

◆個人

水泳飛び込み 伊藤和奏（2年）

・近畿高等学校選手権水泳競技大会 近畿ブロック予選

飛板飛込 優勝

高飛込 優勝

◆個人

第38回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト京都府予選会

Recitation の部 北脇 覇飛（2-1）準優勝

◆個人

第10回日本武道振興会杯チャンピオンカップ2022決勝大会

高校男子の部 70kg 未満 中山 星音（1-3） 優勝

(2) 令和4年度入学試験に関する状況

	1次	1.5次
志願者数	769	13
受験者数	765	12
合格者数	752	6

(3) 令和3年度卒業生状況

卒業生数： 298名（商業科 77名、普通科 221名）

[表彰]

日本私立中学高等学校連合会会長表彰 1名

京都府私立中学高等学校連合会表彰 1名

全国商業高等学校協会卒業生成績優秀者表彰 1名

産業教育振興中央会会長賞 1名

京都府産業教育振興会会長賞 1名

京都府卒業生成績優秀者表彰 1名

全国商業高等学校主催検定3種目以上1級合格者表彰 12名

7種目 1名 6種目 1名 5種目 1名 4種目 4名 3種目 5名

(4) 進路状況

○合格者数

大学 267

国公立 2 (3) ・ 関関同立 17 (6) ・ 産近龍佛 115 (46)

短大 104 (49)

専門 58 (80)

就職 20 (29)

※()内数字は、昨年度。

○進路数

大学 126 42% (100 37%)

短大 86 29% (45 17%)

専門 58 19% (80 30%)

就職 20 7% (29 11%)

その他 8 3% (13 5%)

※就職は、17年連続、内定率100%達成。

※その他には、留学生・過年度生含む。

※()内数字は、昨年度。

4. 京都成章高等学校

(1) 当該年度の事業の概要について

令和3年度は、昨年度から続くコロナ渦の中、いかにして通常の学校教育環境を取り戻すかを最大のテーマとして一年間の学校運営を行った。

新型コロナウイルス感染症がさまざまに変異しながら次々と流行期を繰り返し、今後も真のアフターコロナの見通しが立たない状況が続くことが予想される中、令和3年度も、多くの学校が休校、学級閉鎖、時差登校等の措置をとりながら、時には自宅でのオンライン授業を採用する学校運営を強いられた。

しかしながら、本校のような大学進学を目指した教育を目的とする学校にあつて、大学受験に向けた必要な学習到達を図り、実際に生徒を大学へと合格させていくことは、生徒の将来にとっても、あるいは本校の存在意義という観点においても極めて重要な生命線であり、コロナ渦にあつても休校や時差登校、あるいは自宅でのオンライン授業を採用していく訳にはいかないと判断。厳しい世論や批判があろうと、むしろこの機に、たとえ新型コロナウイルス感染症が流行する中にあつても、本校が付託された生徒への教育の充実を図るとともに、生徒に大学受験で必要な学力を身につけさせるため、教育活動の正常化を積極的に推し進め、従来の教育活動を実現していくことを選択した。特に昼間の通常授業のみならず、放課後も生徒を学校に残し、従前通りの夜の大学受験対策も積極的に行っていた。その結果、生徒、保護者の理解と協力もあり、一年間を通してほぼ新型コロナウイルスの流行前と同様の教育活動を果たした。

1) 教育

① 授業

全日制課程

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、多くの高校がオンライン授業、時差登校、休校等の措置をとる中、本校は一年間を通して通常通りの校時の中で対面授業を実施した。結果、令和3年度も学則に定められた授業日数を確保し、すべての教科において定められた学習内容を終了できた。

通信制課程

令和3年度も、例年通り、年間18日のスクーリングを実施し、また定められたレポート添削指導を完了した。

② 学校行事

令和3年度は、学校行事の生徒への教育的意義に鑑み、新型コロナウイルスへの感染対策と若干の日程の変更などを講じながら、昨年中止した行事を積極的に復活させて、通常通りの行事を実施していった。結果、多少の日程変更はあったものの、一年を通して、ほぼ従来通りの学校教育活動を果たした。

4月 9日	第36回 入学式
15日	校外活動
21日	3年生「主権者教育」

6月10. 11日	文化祭
21日	遠足
10月13日	体育祭
11月11日	球技大会
1月24日	芸術鑑賞
1月31日～	MSクラス スキー研修旅行出発 志賀高原スキー場
3月 1日	第34回卒業証書授与式
14日～	2年生ASクラス・アカデミッククラス (前半) スキー研修旅行出発 タングラムスキー場
16日～	2年生ASクラス・アカデミッククラス (後半) スキー研修旅行出発 タングラムスキー場 1年ASクラス・Aクラス スキー研修旅行出発 白馬コルチナススキー場

③ メディカルスポーツクラス集中講座

6月17日	「スポーツ選手の栄養学」
7月15日	「スポーツ選手の栄養学」
10月 7日	「スポーツ選手の栄養学」
26日	「スポーツ選手の栄養学」

④ 進路指導関係

今年度は、生徒を対象とした進路学習は言うまでもないが、保護者にも大学進学についての理解を深めていただく必要性に鑑み、コロナ渦の中でも保護者を対象とした進路関係の説明会も復活させ、ほぼ例年通りの日程で実施していった。

6月 3. 4. 14. 15. 17. 21. 22日	3年生 保護者対象 進路説明会
15日	2年生 進路学習会
16日	2年生 進路学習会
9月27. 30日	1年生 学部・学科ガイダンス
10月19. 21日	1年生 保護者対象 進路説明会
20日	1年生 進路学習会 (文理選択について)
12月上旬～	3年生 私立大学出願面談
1月21日	3年生 国公立大学出願検討会
24日～	3年生 国公立大学出願用三者面談
3月22日	保護者対象立命館大学高大連携説明会

⑤ 生活指導関係

令和3年度もいじめ防止対策、薬物の危険性を中心にした生活指導に関する教育と自転車の安全運転に関する教育を重視し指導の強化を図る。特に外部講師を招いて行う

「いじめの問題」「薬物の危険性」「ネット利用の危険性」についての学習を、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のために中止したが、今年度は復活させ、例年通りの形で実施することができた。

4月20日 1年生 「ネットの危険性」
 2年生 「危険薬物」
 西京警察署スクールサポーター
11月 9日 1年生 「ネットいじめについて」
 佛教大学 原 清治 先生

⑥ 保護者会総会・学級懇談会

この企画だけは、令和3年度の在籍生徒数からして、参加する保護者数が体育館の収容定員を大きく超えてしまう中での新型コロナウイルス感染症対策は困難と判断し、対面を避けた形での実施となった。

⑦ 三者面談

担任、保護者、生徒による面談。特に一学期の学習状況等を総括し、希望進路や今後の学習計画等を相談。また保護者と担任との信頼関係の構築も目的の一つ。7月20日～7月30日に本校の各ホームルームで実施。

⑧ 進学講座

放課後に毎週月・火・木・金の4日間、原則1コマ45分を2講座実施した。

⑨ 長期休暇中の教育活動

- ・春季休暇中・・・春期講習の実施
- ・夏季休暇中・・・夏期講習の実施

⑩ 教育の管理

- ・学校評価の実施

⑪ 「京都成章高等学校 研究紀要 第10号」作成

2) 健康・安全管理関係

① 学校衛生委員会の開催と充実

原則として毎月第二水曜日(16:45～)に、校長、副校長、教頭、衛生管理者、産業医、保健主事、養護教諭、教職員代表らによる、教職員の健康管理を目的とした「学校衛生委員会」を開催。以下は令和3年度の衛生委員会で審議されたテーマ。

- ・日常生活におけるコロナ対策
- ・新入教職員の健康管理について
- ・文化祭に向けてのコロナ対策
- ・教職員健康診断について

- ・学校見学会に向けてのコロナ対策
- ・コロナ渦における救急処置について
- ・芸術鑑賞に向けてのコロナ対策
- ・ストレスチェックの実施について
- ・体育祭、球技大会に向けてのコロナ対策について
- ・教職員のメンタルヘルス
- ・衛生委員会アンケートの実施について
- ・教職員定期健康診断の結果報告
- ・スキー研修旅行に向けてのコロナ対策について
- ・入試に向けてのコロナ対策について
- ・衛生委員会の年間のまとめ

② 教職員健康診断

6月24日

教職員対象健康相談

12月10日

③ 生徒の健康・安全管理

4月26日

生徒健康診断・クラブ員心電図

5月26日

交通安全教室（西京警察署による講演と実演）

9月 8日

クラブ員検尿

11月17日

学校安全点検の日

1月12日

1・2年生 スキー研修前内科検診

④ 避難訓練

5月26日に実施。

3) 教員の研究・研修及び協議会・フォーラム関係

5月14日	私学生活指導研究会	洛南高校
7月 4日	京都府私立学校図書館協議会総会	京都女子高等学校
21日	特例応急手当普及員講習	南消防署
8月 5日	家庭科教員研修会	大阪調理製菓専門学校
10月21・22日	私学教育研究集会	京都国際会館
12月 3日	保健体育研究発表会	神戸市総合教育センター
1月14日	私学経営研究会セミナー	大阪ガーデンパレス

4) 部活動の主な戦績について

野球部

令和3年度春季京都府高等学校野球大会

準優勝

男子ラグビー部		
第101回 全国高等学校ラグビーフットボール大会		ベスト8
第73回 近畿高等学校ラグビーフットボール大会		ベスト4
女子ラグビー部		
第4回 全国U18女子セブンズラグビーフットボール大会 近畿ブロック予選大会		準優勝
第4回 全国U18女子セブンズラグビーフットボール大会		第7位
剣道部		
令和3年度京都府私学総体剣道の部 男子団体		優勝
女子バレーボール部		
令和3年度京都府私学高等学校バレーボール選手権大会		優勝
女子ソフトボール部		
第73回 全国高等学校総合体育大会京都府予選		準優勝
第42回 全国高校選抜大会京都府予選		準優勝
バドミントン部		
第72回全国高等学校バドミントン選手権大会京都府予選		男子 第3位 女子 準優勝
第68回 近畿高等学校バドミントン選手権大会		ベスト8
2021年度 京都府高等学校バドミントン新人大会団体（学校対抗戦）		男子 第3位 女子 優勝
女子卓球部		
京都府高等学校秋季卓球選手権大会京都府予選		ベスト4

(2) 入学志願者数、合格者数等の入学試験に関する状況について

令和4年度入試結果

	志願者数	ASクラス合格	アカデミークラス合格	メディカルスポーツクラス合格	合格者計
専願・推薦	351	59	184	97	340
併願	473	214	231	26	471
合計	824	273	415	123	811

(3) 卒業生数について（3月1日卒業証書授与式を挙行）

令和3年度	全日制課程卒業生	625名
	通信制課程卒業生	13名

(4) 令和3年度卒業生進学状況

全日制課程 卒業生 625名

- ・ 四年制大学 539名
- ・ 短期大学 5名
- ・ 文科省外大学校 3名
- ・ 専門学校 8名
- ・ 海外留学 1名
- ・ 進学準備 67名
- ・ 就職 2名

通信制課程 卒業生 13名

- ・ 四年制大学 7名
- ・ 専門学校 1名
- ・ 海外留学 1名
- ・ 進学準備 4名

Ⅲ 財務の概要について

学校法人明德学園の令和3年度決算は、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条に従って計算書類を作成し、公認会計士の外部監査及び学園監事による内部監査を受けた後、令和4年5月27日の理事会及び評議員会において審議、承認されたものである。

1. 主な計算書類

(1) 収支計算書の状況

ア) 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを明らかにするための計算書類である。

資金収支計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,127,306,000	2,127,306,500	△ 500
手数料収入	45,652,000	46,013,500	△ 361,500
寄付金収入	20,045,000	20,045,681	△ 681
補助金収入	1,231,006,012	1,231,006,012	0
資産売却収入	155,000,000	155,965,802	△ 965,802
付随事業・収益事業収入	15,060,000	14,970,772	89,228
受取利息・配当金収入	110,000,000	123,426,092	△ 13,426,092
雑収入	69,897,000	72,170,903	△ 2,273,903
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	407,000,000	439,177,752	△ 32,177,752
その他の収入	1,410,135,879	1,410,714,268	△ 578,389
資金収入調整勘定	△ 562,715,052	△ 558,810,221	△ 3,904,831
前年度繰越支払資金	2,447,316,834	2,447,316,834	
収入の部合計	7,475,703,673	7,529,303,895	△ 53,600,222

支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,823,593,696	1,822,037,095	1,556,601
教育研究経費支出	973,235,000	950,179,821	23,055,179
管理経費支出	196,267,000	187,269,689	8,997,311
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	39,166,000	39,162,829	3,171
設備関係支出	34,265,000	33,796,085	468,915
資産運用支出	599,886,000	402,971,654	196,914,346
その他の支出	1,512,466,000	1,373,836,401	138,629,599
〔予 備 費〕	(222,696)		
	9,777,304		9,777,304
資金支出調整勘定	△ 147,018,179	△ 138,771,981	△ 8,246,198
翌年度繰越支払資金	2,434,065,852	2,858,822,302	△ 424,756,450
支出の部合計	7,475,703,673	7,529,303,895	△ 53,600,222

イ) 活動区分資金収支計算書

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書の決算額を3つの活動区分に分けて、活動区分ごとに資金の流れを明らかにするための計算書類である。

活動区分資金収支計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

		(単位 円)	
		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,127,306,500
		手数料収入	46,013,500
		特別寄付金収入	18,845,681
		経常費等補助金収入	1,226,112,012
		付随事業収入	14,970,772
		雑収入	72,170,903
		教育活動資金収入計	3,505,419,368
	支出	人件費支出	1,822,037,095
		教育研究経費支出	950,179,821
		管理経費支出	187,269,689
教育活動資金支出計		2,959,486,605	
	差引	545,932,763	
	調整勘定等	40,894,190	
	教育活動資金収支差額	586,826,953	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設設備寄付金収入	1,200,000
		施設設備補助金収入	4,894,000
		施設整備等活動資金収入計	6,094,000
	支出	施設関係支出	39,162,829
		設備関係支出	33,796,085
		減価償却引当特定資産繰入支出	100,000,000
		成章施設整備引当特定資産繰入支出	1,200,000
		施設整備等活動資金支出計	174,158,914
		差引	△ 168,064,914
	調整勘定等	3,783,840	
	施設整備等活動資金収支差額	△ 164,281,074	
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	422,545,879	
その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	有価証券売却収入	155,965,802
		退職給与引当特定資産取崩収入	22,902,960
		預り金受入収入	1,200,576,429
		立替金回収収入	41,000
		小計	1,379,486,191
		受取利息・配当金収入	123,426,092
		その他の活動資金収入計	1,502,912,283
	支出	有価証券購入支出	103,387,750
		第3号基本金引当特定資産繰入支出	129,370,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	68,013,904
		経短後援奨学引当特定資産繰入支出	1,000,000
		預り金支払支出	1,212,170,040
		立替金支払支出	11,000
小計		1,513,952,694	
その他の活動資金支出計	1,513,952,694		
	差引	△ 11,040,411	
	調整勘定等	0	
	その他の活動資金収支差額	△ 11,040,411	
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	411,505,468	
	前年度繰越支払資金	2,447,316,834	
	翌年度繰越支払資金	2,858,822,302	

ウ) 事業活動収支計算書

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度の収支の状況を明らかにし経営成績を表すものである。

事業活動収支計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位 円)

		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	取事業の活動	学生生徒等納付金	2,127,306,000	2,127,306,500	△ 500
		手数料	45,652,000	46,013,500	△ 361,500
		寄付金	19,105,000	19,106,448	△ 1,448
		経常費等補助金	1,226,112,012	1,226,112,012	0
		付随事業収入	15,060,000	14,970,772	89,228
		雑収入	69,897,000	72,170,903	△ 2,273,903
		教育活動収入計	3,503,132,012	3,505,680,135	△ 2,548,123
	支事業の活動	科目	予算	決算	差異
		人件費	1,868,706,696	1,867,148,039	1,558,657
		教育研究経費	1,213,214,000	1,190,389,955	22,824,045
管理経費		211,896,000	202,852,034	9,043,966	
徴収不能額等		500,000	500,000	0	
教育活動支出計	3,294,316,696	3,260,890,028	33,426,668		
教育活動収支差額		208,815,316	244,790,107	△ 35,974,791	
教育活動外収支	取事業の活動	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	110,000,000	123,426,092	△ 13,426,092
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	110,000,000	123,426,092	△ 13,426,092
	支事業の活動	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0		
教育活動外収支差額		110,000,000	123,426,092	△ 13,426,092	
経常収支差額		318,815,316	368,216,199	△ 49,400,883	
特別収支	取事業の活動	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	55,000,000	55,536,453	△ 536,453
		その他の特別収入	16,923,000	16,927,001	△ 4,001
	特別収入計	71,923,000	72,463,454	△ 540,454	
	支事業の活動	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	993,000	988,440	4,560
		その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	993,000	988,440	4,560		
特別収支差額		70,930,000	71,475,014	△ 545,014	
〔予備費〕		(222,696)		9,777,304	
基本金組入前当年度収支差額		379,968,012	439,691,213	△ 59,723,201	
基本金組入額合計		△ 184,758,000	△ 183,477,265	△ 1,280,735	
当年度収支差額		195,210,012	256,213,948	△ 61,003,936	
前年度繰越収支差額		333,844,176	333,844,176	0	
基本金取崩額		59,000	58,590	410	
翌年度繰越収支差額		529,113,188	590,116,714	△ 61,003,526	
(参考)					
事業活動収入計		3,685,055,012	3,701,569,681	△ 16,514,669	
事業活動支出計		3,305,087,000	3,261,878,468	43,208,532	

【資金収支計算書の主な科目の内容】

□収入の部

科目	備考
学生生徒等納付金収入	授業料、入学金、学園充実費、教育充実費、施設維持費、実験実習費等のことで収入の大半を占める。
手数料収入	手数料の中心は入学検定料、その他各種証明書の発行手数料などである。
寄付金収入	用途指定のある特別寄付金と用途指定のない一般寄付金がある。
補助金収入	国庫補助金や京都府私学運営費補助金が中心で、学生生徒等納付金に次ぐ収入源である。
資産売却収入	有価証券等の売却による収入である。
付随事業・収益事業収入	生徒寮等の教育活動に付随する活動に係る事業の収入である。
受取利息・配当金収入	学園が保有する預金や有価証券等金融資産の受取利息が中心である。
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入であるが、資金の収納が当年度に行われず、前年度又は翌年度に行われる収入項目に対応する勘定である。

□支出の部

科目	備考
人件費支出	教職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費等である。
教育研究経費支出	奨学費、光熱水費、消耗品費、修繕費、旅費交通費、賃借料、印刷製本費、通信費等がある。
管理経費支出	学生生徒募集の広報費や学生生徒の寮関連経費、教職員の福利厚生費、法人業務に関する経費等がある。
施設関係支出	建物や構築物に支出した勘定である。
設備関係支出	教育研究用機器備品や管理用機器備品に支出した勘定である。
資産運用支出	将来の固定資産準備金、有価証券の購入や特定事業目的への繰入額となる「引当特定資産への繰入支出」が中心である。
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対応する支出であるが、資金の支出が当年度に行われず、前年度又は翌年度に行われる支出項目に対応する勘定である。

【事業活動収支計算書の主な科目の内容】

□事業活動収入の部

科目	備考
寄付金	資金収支の寄付金収入から施設設備に係る寄付金を除いた額である。
経常費等補助金	施設設備補助金以外の補助金である。

資産売却差額	資産売却収入が帳簿価額を超える場合の超過額である。
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、現物寄付、施設設備補助金などによる収入である。

□事業活動支出の部

科目	備考
教育研究経費	資金収支の教育研究経費支出に減価償却額を加えた額である。
管理経費	資金収支の管理経費支出に減価償却額を加えた額である。
資産処分差額	資産を除却した際の除却額等である。

□基本金組入額

科目	備考
基本金組入額合計	第1号から第4号までの基本金の組入額の合計である。

(2) 貸借対照表の状況

「貸借対照表」は、期末における資産、負債、自己資金の状況を明らかにし、財政状態を表すものである。

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	16,938,356,629	16,834,403,922	103,952,707
有形固定資産	10,041,847,130	10,214,575,367	△ 172,728,237
特定資産	6,893,521,995	6,616,841,051	276,680,944
その他の固定資産	2,987,504	2,987,504	0
流動資産	3,766,043,465	3,400,537,124	365,506,341
資産の部合計	20,704,400,094	20,234,941,046	469,459,048
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	441,076,245	395,965,301	45,110,944
流動負債	676,507,680	691,850,789	△ 15,343,109
負債の部合計	1,117,583,925	1,087,816,090	29,767,835
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	18,996,699,455	18,813,280,780	183,418,675
第1号基本金	16,455,079,455	16,401,030,780	54,048,675
第2号基本金	1,000,000,000	1,000,000,000	0
第3号基本金	1,324,620,000	1,195,250,000	129,370,000
第4号基本金	217,000,000	217,000,000	0
繰越収支差額	590,116,714	333,844,176	256,272,538
純資産の部合計	19,586,816,169	19,147,124,956	439,691,213
負債及び純資産の部合計	20,704,400,094	20,234,941,046	469,459,048

2. 当該年度の決算の概要について

ここでは、決算後の本学園の財政状態を確認すべく、その見方の説明を加えながら貸借対照表をみていく。

資産の部

財産の運用状況、つまり使い道のことであり、「固定資産」と「流動資産」に分かれる。校舎、グラウンド、体育館、情報機器、視聴覚機器、図書、マイクロバス等、明德学園の各学校が教育研究活動を進めていくために必要な施設・設備を「固定資産」と呼び、約169億円ある。また、経営に必要な資金として、現金預金、有価証券、未収入金等があり、これらを「流動資産」と呼び、約38億円ある。これらの資産の合計額、約207億円が学園の財産となる。

負債の部

負債の部においても、資産の部と同じように「固定負債」と「流動負債」とに分かれ、退職金、預り金など将来支払わなければならないものがここに含まれる。

純資産の部

純資産の部は、「基本金」と「繰越収支差額」とに分かれる。

「基本金」とは、学校法人が諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、事業活動収入のうちから組み入れる金額のことである。「基本金」は第1号から第4号までに分かれており、第1号基本金は、資産の部にある有形固定資産を自己資金で取得した場合に組入れられるものである。第2号基本金は、施設計画等がある場合にその取得にむけて計画的に組入れるもので、第1号基本金とともにハード面を目的とした基本金となる。一方、第3号基本金は、学園創立記念奨学基金や教育振興基金など学生生徒や教職員を支援していくために組入れられるソフト面の要素をもつ基本金であり、明德学園ではこの第3号基本金の充実を目指している。第4号基本金は、学校法人の運転資金の額とされている。

「繰越収支差額」とは、事業活動収支計算書の当年度収支差額の累積額である。

この純資産の部は、企業会計で言う資本の部に当たり、正味財産とも言える。本年度末時点において、正味財産が約196億円ある。

3. 主な施設設備の整備状況について

京都経済短期大学における情報処理室の機器更新、京都明德高等学校におけるパソコン教室の機器更新、京都成章高等学校における教室改修工事などを実施し、学生生徒の学習環境の整備を進めている。

4. 財産目録

財産目録

(令和4年3月31日現在)

I 資産額	20,704,400,094 円
内 (1) 基本財産	10,044,164,634 円
(2) 運用財産	10,660,235,460 円
II 負債額	1,117,583,925 円
III 正味財産	19,586,816,169 円

科 目	年 度 末
I 資 産 額	
(1) 基 本 財 産	10,044,164,634 円
1 土 地	69,095.00 m ² 5,802,002,134 円
2 建 物	33,437.24 m ² 3,668,575,631 円
3 構 築 物	182,642,955 円
4 図 書	75,955 冊 191,198,020 円
5 教 具 ・ 校 具 ・ 備 品	21,896 点 194,428,378 円
6 そ の 他	5,317,516 円
(2) 運 用 財 産	10,660,235,460 円
1 現 金 預 金	2,858,822,302 円
2 そ の 他	7,801,413,158 円
合 計	20,704,400,094 円
II 負 債 額	
1 固 定 負 債	441,076,245 円
(1) 退 職 給 与 引 当 金	441,076,245 円
2 流 動 負 債	676,507,680 円
(1) 前 受 金	439,177,752 円
(2) そ の 他	237,329,928 円
合 計	1,117,583,925 円
III 正 味 財 産 (I - II)	19,586,816,169 円

5. 主な財務比率について

比率	算式	指標 (※1)	全国平均 (※2)	令和3年度
貸借対照表				
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	85.1%	81.8%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	14.9%	18.2%
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	6.0%	2.1%
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	▼	5.1%	3.3%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	△	88.9%	94.6%
繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	△	-19.6%	2.9%
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	▼	95.7%	86.5%
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	▼	89.6%	84.6%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	294.0%	556.7%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	11.1%	5.4%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	▼	12.5%	5.7%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	537.8%	650.9%
退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	△	61.6%	100.0%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	97.1%	100.0%
減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	～	54.5%	61.3%
事業活動収支計算書				
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	61.9%	51.4%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	106.9%	87.8%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	29.2%	32.8%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	10.3%	5.6%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	▼	0.2%	0.0%
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△	-0.5%	11.9%
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	▼	112.8%	92.7%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	～	57.9%	58.6%
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金(※3)}}{\text{事業活動収入}}$	△	1.4%	0.8%
補助金比率	$\frac{\text{補助金(※4)}}{\text{事業活動収入}}$	△	31.9%	33.3%
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	△	10.9%	5.0%
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	～	11.4%	7.8%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△	-1.7%	10.1%
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△	-3.5%	7.0%
活動区分資金収支計算書				
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	△	7.0%	16.7%

※1 指標は「△：高い値がよい」・「▼：低い値がよい」・「～：どちらともいえない」を示す

※2 日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」令和2年度 短大法人の部より記載

※3 寄付金＝教育活動収支の寄付金＋特別収支の施設設備寄付金及び現物寄付

※4 補助金＝経常費等補助金＋施設設備補助金